

令和6年度 第6回昭島市自殺対策計画審議会 議事録（要点）

《日時》令和7年2月4日（水） 午後4時から

《会場》昭島市保健福祉センター3階 健康教育講座室

《出席者》12名

自殺対策審議会委員

長瀬 幸弘 会長

岡田 有司 副会長

山科 美絵 委員

後藤 渡 委員

臼井 規次 委員

古館 敏代 委員

橋本 久貴 委員

事務局

保健福祉部長 萩原 秀敏

保健福祉部健康課長 原田 千尋

保健福祉部健康課地域保健係 坂井 理絵 ・ 戸村 愛 ・ 蒲池 八千代

【議題】

パブリックコメントの実施について

令和6年12月13日から令和7年1月17日までパブリックコメントを実施。電子申請での意見が1名あり、3項目にわたる内容であった。「自殺者の年齢構成の比較、重点施策1 子ども若者を対象とした自殺対策の推進」「自殺対策の課題」「素案全体について」に関するものであった。これらの意見は、計画の修正を求める内容でないことから、修正などは行っていない。計画通りに各施策が推進できるように、進捗状況の管理や府内外での連携を円滑にしていくという方向で考えている。

【質疑・意見】

事務局（萩原部長）	今回の第6回自殺対策審議会が最後の審議会となる。今回のパブリックコメントの意見を受けて、2月12日に厚生文教委員協議会に報告していく。その上で、この計画を審議会から市に答申していく流れになる。
臼井委員	4月から計画推進となるが、進捗状況の結果報告などはどう進めていくのか。
事務局（萩原部長）	1年ごとの進捗状況に関しては府内の委員会で評価・検証していく。自殺対策計画自体は5年計画となるため、審議会に対しては、5年通しての評価と結果報告をしてから、次期計画につなげていく。